

發句の口吟、ととるを集るあむを、  
 もなうま、の書もそくつた、年々、  
 大方て忘きは、  
 了ふつむむ、  
 その、  
 昔、  
 年、  
 湯、  
 や、  
 つら、

6 春之部

墨も濃くまろえ、  
 正月や宵、  
 雪の、  
 羽子板、  
 子、  
 初、  
 ま、